

来月の消費予報

ボーナス期の気運に物価上昇が水をさし、消費意欲指数は7月として過去5年の最低値に。

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は、20～69歳の男女1,500名を対象に「来月の消費意欲」を点数化してもらうなど、消費の先行きに関する調査を毎月実施。その結果を「来月の消費予報」として発表しています。※6月2-6日に調査(詳細はP5) 7月の消費意欲指数は48.5点。前月比は+2.0ptの上昇、前年比は-0.4ptの微減となりました。

7月の消費意欲指数



【前月比】

【前年比】

+2.0 ポイント

-0.4 ポイント

■：前月比/前年比で上昇 ■：前月比/前年比で下降

「消費意欲が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(7月)の消費意欲は何点くらいですか?」と質問。

カテゴリ別 消費意向

【前月比】

【前年比】



★ UP：前月比/前年比で20人以上増加 ● DOWN：前月比/前年比で20人以上減少

「来月(7月)、特に買いたいモノ/利用したいサービスがありますか?」という質問に「ある」と回答した人に、具体的に「買いたいモノ/利用したいサービス」を選んでもらった結果を前月/前年と比較して作成。

7月のポイント

Point1：コロナ禍の影響は薄れるも、物価上昇で消費意欲指数は伸び悩む

例年7月はボーナスシーズンで消費意欲が大きく上昇する月ですが、今年は前月から+2.0ptの上昇にとどまり、前年比では-0.4ptの微減で、7月としては過去5年で最も低い数値となりました。

消費意欲指数の理由(OA)をみると、前月比では消費にポジティブな回答は増加し(6月337件→7月396件)、ネガティブな回答は減少しました(6月899件→7月819件)。具体的にポジティブな回答では、「(夏休みや夏服を買いたいなど)季節的な意欲向上(6月70件→7月94件)」「(ボーナスなどで)金銭的に余裕がある(6月42件→7月71件)」が増え、ネガティブな回答では「今後の出費予定のために我慢(6月166件→7月100件)」が減り、ボーナスや夏休みを控えた7月らしい結果となりました。

また、前年比では、消費にポジティブな回答はほぼ同数(21年7月380件→22年7月396件)、ネガティブな回答は減少(21年7月905件→22年7月819件)しました。具体的に消費にネガティブな回答では、「コロナで外出自粛(21年7月74件→22年7月7件)」など、コロナ禍に関する回答(21年7月157件→22年7月19件)や、「金銭的な理由で節約(21年7月220件→22年7月160件)」は大きく減りました。しかし、「値上がり/物価高」は前月比・前年比ともに大幅に増加しています(21年7月1件/22年6月60件→7月113件)。コロナ禍の消費意欲への影響は薄らぐも、物価上昇がボーナス期で高まるはずの消費意欲に水をさすことになりそうです。

Point2：消費意向は「旅行」のみ前年比・前月比増で、日常生活関連は前年比減

「特に買いたいモノ/利用したいカテゴリーがある」人は27.7%で、前月比は±0.0ptの横ばい、前年比は-1.2ptの低下となっており、消費意欲指数同様、7月として過去5年の最低値となりました。

カテゴリー別の消費意向をみると、前月比では「旅行」が20件以上増加し、「食品」が20件以上減少しています。前年比では、「旅行」が20件以上増加するも、「ファッション」「食品」「日用品」「化粧品」「飲料」「書籍・エンタメ」「家電・AV」「車・バイク」など16カテゴリー中8カテゴリーが20件以上減少しています。

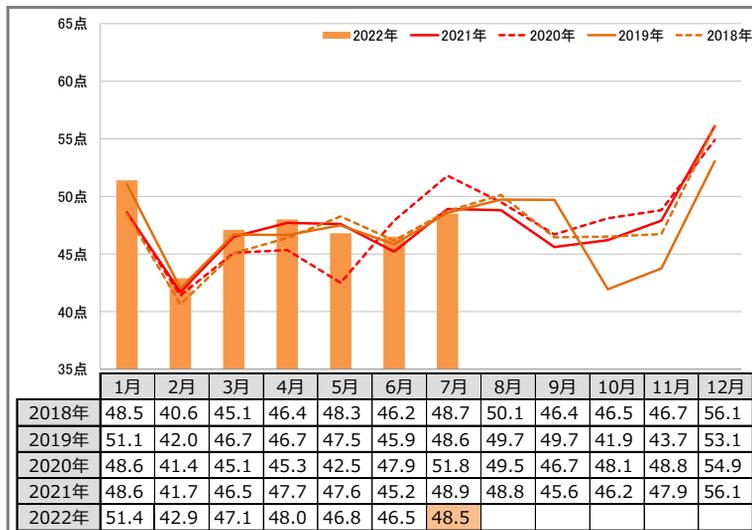
夏休みを前に「旅行」への意向は高まるも、物価上昇の影響からか日常生活関連の消費意向は高まりにくくなりそうです。

消費意欲指数

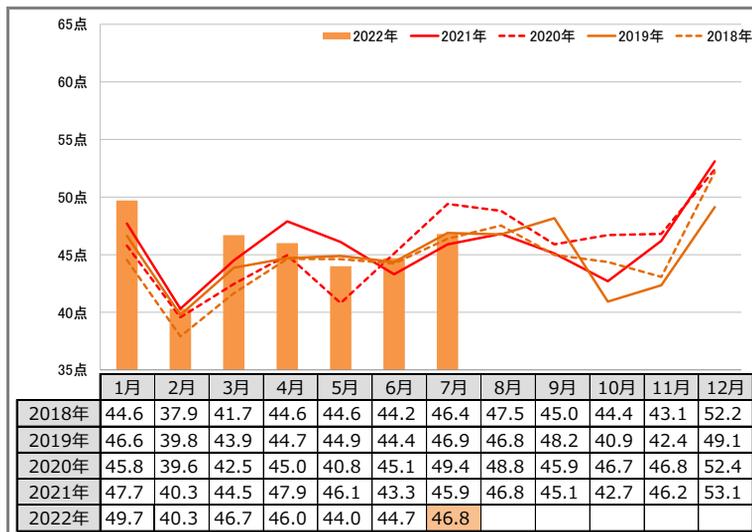
■ 時系列グラフ

Q.消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(7月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

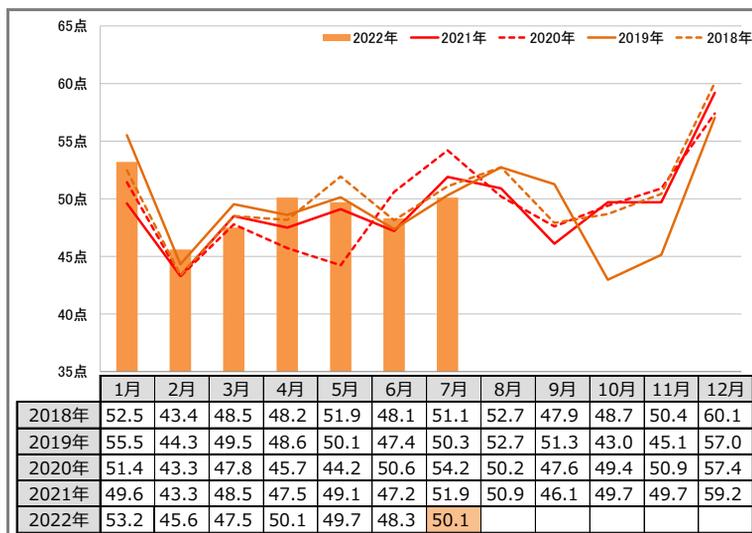
【全体】



【男性】



【女性】



※調査では小数第2位まで集計していますが、本稿は小数第1位まで(小数第2位を四捨五入)を表示しているため、点数差は見た目の数値と異なる場合があります。

消費意欲指数

■ 性別/年代別比較

	(点)						(pt)	
	22年2月	22年3月	22年4月	22年5月	22年6月	22年7月	前月比	前年比
全体	42.9	47.1	48.0	46.8	46.5	48.5	2.0	-0.4
男性	40.3	46.7	46.0	44.0	44.7	46.8	2.1	0.9
女性	45.6	47.5	50.1	49.7	48.3	50.1	1.9	-1.8
20代	45.3	49.3	51.5	46.6	48.6	50.7	2.1	-1.4
30代	43.5	50.2	49.0	50.5	47.9	49.2	1.3	-1.4
40代	43.1	46.1	47.8	43.9	47.5	49.2	1.7	1.3
50代	40.3	44.7	46.6	46.1	43.2	46.6	3.4	0.8
60代	43.3	46.4	46.0	48.1	45.6	46.9	1.2	-2.5

■ +3pt以上の増加
■ -3pt以上の減少

■ 消費意欲指数の理由(抜粋)

Q.(消費意欲の点数について)あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

<生活者の声 ~消費意欲指数の理由~【ボーナスが出た/出る予定】>

- ・初めてのボーナスで、使うと決めていたから(100点・男性22歳・愛知県)
- ・ボーナスも入るので、必需品以外の自分の欲しいものも買いたいと思っている(60点・男性35歳・千葉県)
- ・普段の月はもっと低いと思いますが、ボーナス後で、有給休暇を取って旅行を予定しているので(60点・男性47歳・大阪府)
- ・賞与支給(6月)があり、夏休みも近いことから(80点・男性57歳・東京都)
- ・景気の先行きには不安があるが、ボーナス支給直後で経済的に余裕があるから(70点・男性61歳・兵庫県)
- ・今月ボーナスが出るから(70点・女性23歳・愛知県)
- ・ボーナスが入り消費したい気持ちが上がりつつも、貯蓄も大切にしなければならないという思い(70点・女性34歳・愛知県)
- ・ボーナスや夏のセールで、夏休みに向けて家族の分も含めて購入したいものがあるから(80点・女性46歳・神奈川県)
- ・ボーナス月だが車検や保険の支払いがあり貯金もしたいと思っているが、少しなら贅沢して外食やショッピングも楽しみたい(50点・女性56歳・大阪府)
- ・今年の2月で定年を迎え退職金をもらった。仕事は続けていて、ボーナス時期でもあるので今年は自分の気分が上がるものを買入したいと思う(90点・女性60歳・大阪府)

<生活者の声 ~消費意欲指数の理由~【値上がり/物価高】>

- ・商品や送料が軒並み値上げされているから(50点・男性23歳・東京都)
- ・色々なものが値上げしているから。必要なものは今月楽天セールで買う(30点・男性39歳・大阪府)
- ・次々に食料品や電気など必需品が値上げされ、お給料は据え置きなので節約傾向になると思います(20点・男性41歳・大阪府)
- ・値上がりラッシュで買う気が萎えた。節約したいから(25点・男性52歳・愛知県)
- ・欲しいものは沢山あるが、ほとんどのものが値上がりしており、世界的な流通が回復して、前の水準に戻るまで待とうと考えている(40点・男性62歳・神奈川県)
- ・物価が高くなり貯金が減ったから(10点・女性23歳・東京都)
- ・野菜も食品も日用品もすべてにおいて値上がりしていて、なるべく急ぎでない買い物は控えたい。家計に余裕ができた時に改めて買う必要があるか検討したい(20点・女性32歳・埼玉県)
- ・特に欲しい物がない。値上げラッシュで購買意欲が下がっている(30点・女性48歳・愛知県)
- ・次々と値上がりして、家計のやりくりが大変な中、消費意欲はないに近い(0点・女性57歳・大阪府)
- ・暑いと物価高で消費意欲がストップしていそう(10点・女性61歳・愛知県)

()内点数:消費意欲指数

(参考) 新型コロナウイルス周りの主な動き ※前回調査(5月6日~9日)後より今回調査(6月2日~6日)まで

- 5月 新規感染者数はGW後増加傾向をみせたが、中旬以後減少傾向を続ける
- 5月20日 厚生労働省、マスク着用の考え方を発表
政府、6月1日から水際対策を緩和し、1日あたりの入国者数上限を2万人にすると発表
- 6月1日 新規感染者全国22,624人、東京2,415人 東京は前週の同曜日を19日連続で下回る

補足資料③

特に買いたいモノ・サービス

■ 特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合

Q.あなたが来月(7月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

	2022年7月(%)	前月比(pt)	前年比(pt)
全体	27.7	0.0	-1.2
男性	24.8	-0.4	0.8
女性	30.5	0.4	-3.4

■ 買いたいモノ・利用したいサービス

(特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人ベース)

Q.特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

【全体】(415人)

参考:男性(187人)

参考:女性(228人)

順位	カテゴリー	7月 (人数)	前月比	前年比
1	ファッション	205	+ 5	-46
2	旅行	184	+29	+31
3	外食	179	+ 4	- 9
4	食品	167	-23	-40
5	レジャー	127	- 6	+10
6	飲料	125	-12	-24
7	理美容	115	+ 7	-16
8	化粧品	114	±0	-27
9	書籍・エンタメ	104	-17	-24
10	日用品	96	-10	-33
11	家電・A V	94	- 2	-22
12	インテリア用品	67	+ 7	-18
13	装飾品	57	-11	-18
14	スマートフォン・携帯電話	46	- 9	±0
15	パソコン・タブレット・周辺機器	43	-13	-15
16	車・バイク	34	-16	-21

順位	カテゴリー	7月 (人数)	前月比	前年比
1	旅行	83	+14	+10
2	外食	73	- 7	- 4
3	ファッション	64	±0	-19
4	食品	59	-18	-21
5	飲料	53	- 6	-11
6	書籍・エンタメ	51	- 8	-12
7	レジャー	48	-18	-10
8	家電・A V	47	- 7	-17
9	パソコン・タブレット・周辺機器	31	- 5	-10
10	車・バイク	30	-14	-15
11	日用品	29	- 7	-11
12	スマートフォン・携帯電話	27	-10	- 2
12	インテリア用品	27	+ 1	±0
14	理美容	25	- 2	- 1
15	装飾品	19	- 8	-13
16	化粧品	18	+ 3	- 2

順位	カテゴリー	7月 (人数)	前月比	前年比
1	ファッション	141	+ 5	-27
2	食品	108	- 5	-19
3	外食	106	+11	- 5
4	旅行	101	+15	+21
5	化粧品	96	- 3	-25
6	理美容	90	+ 9	-15
7	レジャー	79	+12	+20
8	飲料	72	- 6	-13
9	日用品	67	- 3	-22
10	書籍・エンタメ	53	- 9	-12
11	家電・A V	47	+ 5	- 5
12	インテリア用品	40	+ 6	-18
13	装飾品	38	- 3	- 5
14	スマートフォン・携帯電話	19	+ 1	+ 2
15	パソコン・タブレット・周辺機器	12	- 8	- 5
16	車・バイク	4	- 2	- 6

<全体にのみ下記基準で色付け>

:前月比/前年比で20人以上増加

:前月比/前年比で20人以上減少

※男女別ランキングは、母数が少ないため参考値

調査概要

■ 質問項目(質問文)

[消費意欲指数]

消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(7月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

[特に買いたいモノ・利用したいサービス]

あなたが来月(7月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)
特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

調査概要	生活総研が、生活者の気持ちの変化を読み解くために、生活に関する意識を指数(100点満点評価)で回答してもらうものです。					
調査地域	①首都40km圏 ②名古屋40km圏 ③阪神30km圏					
調査対象者	20～69歳の男女					
対象者割付	調査地域①～③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付					
サンプル数	合計1,500人					
	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	122	143	187	169	136	757
女性	118	139	183	164	139	743
合計	240	282	370	333	275	1,500
調査方法	インターネット調査					
調査時期	2022年6月2日(木)～6日(月) (2012年5月から調査開始/毎月上旬に実査)					
調査機関	株式会社 H.M.マーケティングリサーチ					

<備考>

「来月の消費予報」は、毎月下旬に翌月の消費意欲指数を発表いたします。

・博報堂生活総合研究所は、6/21付で「2022年6月 新型コロナウイルスに関する生活者調査」を発表いたしました。

<https://www.hakuhodo.co.jp/uploads/2022/06/20220621.pdf>

こちらは、毎月第3～4週頃に発表する予定です。併せてご利用下さい。

問い合わせ先 博報堂生活総合研究所(近藤・内濱) 03-6441-6450 seikatsusoken.info@hakuhodo.co.jp
株式会社博報堂 広報室(関田・山田) 03-6441-6161 koho.mail@hakuhodo.co.jp

データ公開 本調査のデータは、生活総研のホームページ(<https://seikatsusoken.jp/shohiyoho/2022-07/>)からダウンロードしていただけます。